（廿四日夕刊）

磐城新聞

休刊大祭日第一第三日曜
定價（壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵税十錢）
廣告料（二行半錢指定廿錢増）
發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社

テンエッセイズ（上）

小名濱町 水野忠護

初夏

私の好きな季節の一つだ。清々しい水田にはスマートな苗が新らしいホームを作つてゐる。山には新緑、空は深い海の様な深青色日は烈々。大地は赤き血に燃えてゐる。人々まで一緒になつて懸命に走る。それが初夏。私は初夏が好き、風。涼しい。

スポーツ

野球、乗馬、水泳、登山は運動の中の好きなもの。庭球、籠球、排球、フイールド、ゴルフは見てもいゝ。ピンポン、マラソン、トラック、運動の中の嫌いなもの。眞のスポーツマンが大好き。然し何と近頃は廣告的スポーツマンの多い事よ

詩歌

淡い月光のさす書齋で獨り詩歌を味ひ又作る。光風霽月の心境も亦多忙なる現代人の生活には必須なものではあるまいか。現今の世の中が如何に世智辛くあらうともこの位の雅趣は持つてほしいと思う。何事にもせよ道は足の廣さ程あれば足りるといふ思想は良からぬものである。樂翁もこれをば誡められた。詩歌。優しい風雅だ。

戰闘力

人生は絶ゆざる戰闘の涙との交混せる皮肉なる連鎖劇である。力あるものはやぶれ力なきものは滅ぶ。弱肉强食はこれ世の常、人類五千年の尊い記録は遂にこの言葉の夢となる事を許す事は出來なかつた。否むしろこの弊を増長したにすぎない。然りこれは現實である。趣論はさておき我々はこの嚴粛なる現實に向つて勇敢に矛を楯を取らねばならぬ。戰闘力なきもの。それは遂には世の敗殘者たるをまぬかれぬ。

鐘音

晩春の黄昏時寂々[illegible]鐘の音を聞く[illegible]

何人か死の尊きという事の暗示を受けないものがあらうか。

人生とは

人生とは何ぞや。曰く不可解也かく斷定して不可解なる日常生活を營むでおる者これを現代人の大多數とすればこれは甚だ不可解の事と言わねばならぬ。我々は哲學者でわない。我々は如何にすれば生を享樂し得るか。自己の生活を最大限度に擴張するには如何なる態度の生活を送るべきか。自己の人生を完了するために如何なる立場をとるべきか、これを決定する事が哲學者ならぬ我々にとつての「人生とは何ぞや」という問に對する最も簡明なる答である我々は少くとも自己に對して確固たる獨自の人生觀がそ個人の絶對力も表現されなければならぬ。そこにこそ職業の貴賤も消わ失せて立派な眞の意味の自由平等のユートピアが生れる筈である。今の日本は過渡期である。眞の日本は現在の赤子達によつて初めて形成されるであらう。今の日本人は『生活』否『虚僞の生活』といふ演題を不平蘂な技術で演じてゐる役者しかもその內心明らかに自己の藝能に對する不安を抱いてゐる役者、それが現代日本人である。我々は今一度明治維新時代の凡達の樣な深刻に自己反省をしてみなければいけない。そして深く猛省する所がなければいけない現代人は輕薄である徹底味を缺いてゐる。惡でもかまわぬ徹底してみろ。そしたら初めてそこに眞の善を發見するに違ひない。サスペンスは吾人の賤視する所これ皇國の敵人生とはといふ問題は何もむずかしい問題ではない。勇敢に果敢に各人獨自の「[illegible]わぬ」見解から答案を創し各人の人生を最も力強く歩け然らばやがて明怪なる解答を得るであらう。

明日の吉凶 舊暦五月十九日 新暦六月二十五日

▲一白 時運に雲足早く追ひ付かれぬ氣味あり焦るは凶▲二黒 飲食さへ愼めば餘事は何づれも無事たるべし▲三碧 進展の氣運に向ひ來る日一致事に當るべし▲四緑 願ふこと大に過ぐれば一物も手に止まらず▲五黄 迷はず惑はず常業に滿足すれば吉日となる▲六白 障碍を除きつゝ進みて倦まざれば末は大吉▲七赤 誠意と根氣とを以てすれば萬事通達すべし▲八白 塵も積れば山となる急功を求むることなかれ▲九紫 人の咄しに乘るなかれ文書の授受も注意を要す。

小説 死を超ゆる者 (19)

三上於菟吉作 布施平八郎畫

効なき奔命（四）

やがて勇は薄よごれた銘仙の綿入羽織を着て、灰色になつた白毛糸の襟卷をした六十恰好の瘦しわんだ老人と膝を突き合はせた。

「つい、そこまで出てゐましたので、ハイわしが太田で御座います」

とその男は頭を下げずに聊か横柄な態度で言つた。

「何か御用で御座いますか?」

「高山から手紙を貰つて來ました」

勇は多く語る元氣もなくその老人に友達の手紙を渡した。老人はふところから眼鏡を出して眉を寄せ合せるやうにしながら紹介狀を熟讀した。と同時に一種の尊嚴が彼れの顔に浮んだ

「ほゝう！ではあなたは江馬樣の御子息で……いや、どうもこんなあばら家へわざ〱御光來下さらずとも御用ならば早速推參いたしたので……へゑ……これは誠に失禮致しました、まづ御樂にお坐りを願ひたう存じますへゑ……」

「いや、私こそ突然上つて御面倒をかけて濟みません。どをもた急がしいところを大變に御邸致しました」

「何の、何の、いやもうこんな怪しげな佗住居でお構ひ申すことも出來ませぬで、へゑと高山氏の御書狀に依りますると、私めに御用を仰せつけ下さるとか……いやもう江馬樣の御子息樣などに御用立つ程の力はござりませぬが百金、二百金位か程なりと早速御用立い致しまするで……へえどうぞ、お心置きなく御用命願ひまするで……へゑ」

「ぢやあ、多少にかゝはらず願へるのですね」

と勇は相手の氣向けが大分いゝのでホッとしながら訊ねた

「勿論、多少に拘らず、とか二百金でも三百金でもへえで御用の額は大凡どれ程で御座りまするで？へえ?」

「ちつと大きいのですが……」

「へゑ何程にても私の都合のつきますだけは、へえ……」

「じつはねい、太田さん」

「へゑ」

「まづ僕の望みはね」

「と申しまするど、五、六百圓位のお話しで……」

「いやもつと大きいのですよ」

「それぢやたいくら位で」

「六千圓」

勇は崖を飛び下りるやうな決斷で言つた

「は？」

老人は聽き違ひではないかと我耳を疑ふやうに乘り出した

「若樣、たいくらと仰せられますか」

「六千圓」

「はは、それはちとどうも」

と老人は呆れた顔をした

「あなた樣の御身分ではその額は挨芥で御座いませうが、何分見すぼらしい私どもは千圓以上、いやなに五百圓以上となりますると、どのやうなお方へも抵當なしではいその質は御用立いたしかねまするで……その上何分押詰まつたこの年の暮のことで御座りますれば實はあなた樣のやうなお方でなければたとい百圓でもおことわり致して居りますが……まづ、しかしほか樣ならぬ方で御座りますれば六百圓だけは即座にお間に合せいたすことに到しまするで……もつとも一應お屋敷まで何氣なしに參上いたしてお屋敷內でごく秘密にお取引申げまするで……へにどうぞそれで一時お間に合せて下さるにと願ひたいのでございます」

と太田はまちめくさつた態度でいと用意周到に考へながら內心ひそかに困つたが其風も見せず六百圓までは覺悟して言ひ出した

廣告 上田醫院

平町南町 大和田醫院 電話一七〇番

◎夏衣陳列 粋な中形 着尺モスリン 名仙 單帶 其の他色々 どうぞ御來店を 三丁目 鍋田屋 電七

生徒大募集 七月一日新學期開始!!
甲種運轉手たらんとするものは本校に來れ 玆に七月一日の大募集を開始せり。來りて本校獨特の教授法と練習の猛烈なる事實を觀覧せられんことを希望す。而して其眞劍なる努力ゐ眞相に直面せば必ずや首肯せらるゝ所あらん。學資の低廉亦全國無比、七月一日の一大好機を逸する勿れ。
（毎月一日入學許可）
◆本科（三ヶ月卒業）一ヶ月分 金二十五圓也 學科習實費共
◆速成科（二ヶ月卒業）一ヶ月分 金三十圓也 學科實習費共
◆受檢科（一ヶ月卒業）一ヶ月分 金三十五圓也 學科實習費共
各科共 フォード、新フォード シボレー使用
▲學則及び入學案內申込次第進呈す
平町四軒町 公認 磐城自動車學校 電話六四〇番

外科 婦人科 內科 X光線科
外科一般 耳鼻科 花柳科 産科 婦人外科
赤心堂病院 平町田町（電四七五）

新築移轉 耳、鼻、咽喉科 合津醫院 平町仲田町七一（電話五五九）

優秀なる最新型腕巻時計
蓄音器 眼鏡 各種レンズ 各國時計 ダイヤ 指輪 装身具
鐵道省御用 クジヤク印蓄針特約店 金光堂時計店 平町五丁目 電話七三六番
貴金屬御注文製作品早く良奉仕的特價に致します

割烹 末廣 電話四二二

新築落成 耳、鼻、咽喉科 氣管食道科（專門）
平町南町（舊診療所向電一七〇番） 大和田醫院 大和田郡司 自炊の便あり

縁したゝる初夏!!
かるく涼しく 丈夫な白靴 △弊店獨特……白革底
自製品 A……六、〇〇 B……七、〇〇
靴の御用は……形ト仕事ト 安價デ……確實な
平田町 大塚支店製靴部へ 電話七〇二番

貸地廣告
平町郡役所より税務署附近の新開地に五百餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします
御希望の方は電話なり葉書なり戴けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます
小名濱商事株式會社 平出張所 電話 六〇三番 五四一番

新レコード着荷 コロンビア邦樂レコード
現代劇 受難華 三枚 水谷八重子 花柳章太郎 柳永二郎
映畫小唄 沓掛小唄 一枚 大河內傳次郎 其他
映畫小唄 戀へるの唄 一枚 川崎豐 島田晴譽氏指揮 松竹管絃樂團伴奏
追々夏らしい氣分になつて參りまして愈々蓄音器のシーズンが近付きました。此の機會に於きまして弊店では右の如き特別發賣を致す事に致しました。何卒御用命下さる樣
特に蓄音機の修繕は安く良く早く
平三 大谷時計病院 電話一九番

安全第一
諸債券、公債ノ御用ハ迅速簡易ヲモツトートスル弊店ヲ精ニ御利用クダサイ
營業課目 勸業債券 復興債券 公債其他 兩替 金融 質物一般 取扱
多田井商店 平町大工町

營業種目
內地材 材木各種、羽柄材各種 建築諸材請負 礦山用坑木其他諸材請負
外材部 米松、米杉、大角製材調達請負 其他
(百) 佐藤材木店 常磐線平町新川町 電話三三五番

內臓外科 外科一般 花柳病科 入院隨意 自炊の便あり
平町田町大通り 安齋外科醫院 電話四三六番

特賣!!
たひら正宗 福島縣清酒品評會一等賞受領
花春 同 優等賞受領
醬油釀造元 鹽屋 山崎合名會社 電話一〇番

平町の特別戸數割 けふから委員會
總額四萬七千圓 百圓以上の氏名

平町に於ける今年度特別戸數割の前期分賦課額は今二十四日より町會委員の手で調査中で二十八日迄に終了の筈であるが總額四萬七千七百六十五圓にして所得によるもの二萬八千六百五十九圓（十分の六）見込によるもの一萬九千百六圓（十分の四）で賦課率は一圓に對し一錢一厘　毛八に當り去年より三毛四の増加である而して賦課人員は四千六百三十四人で去年より十六圓を減じてゐるが平町本年の所得總額は二百五十六萬二千八百十圓に達し去年より七萬四百四十四圓の減額である。因に前半期百圓以上の納税者左の如し

△百圓以上の納附者

一、五二一 四五 諸橋久太郎
八三七、一二一 山崎與三郎
一二四、一一 白井 一郎
二三三、七〇 馬目 玉彌
一二二、五〇 草野 順平
四一七、八九 吉田由三郎
一〇九、八二 鈴木比佐子
一二六、一六 酒井 重雄
一一〇、七六 上田 耕作
一〇五、五〇 柳沼豐太郎
一二一、八〇 關内長三郎
一五八、五〇 諸橋敬一郎
一一八、九七 松本 龜吉
一四八、八〇 小原 喜八
一二〇、二〇 鹽崎 貞衛
二一九、九六 明智 淺吉
一四一、三〇 谷口仁太郎
一五一、三六 石川 トヨ
二二八、五七 關内 正一
一二五、三〇 根本 善吉
三九三、七七 鈴木 堅助
一六七、六五 中野 庄吉
一二五、三八 長瀬延太郎
一四九、七三 大谷 久藏
一〇九、一九 馬目勝次郎
一四八、一一 佐々木喜治
一三一、八三 柏原幸次郎
一二一、八一 梅原利三郎
一一〇、四五 草野 喜一
一〇八、六四 小野 常治
一〇五、二八 松本 愛三
九七八、八九 百濟 易與
一一六、八七 阿部唯次郎
一七七、九八 猪狩 庄平
一六四、八九 江尻淺之助
四五〇、八一 平松 武
一二二、九二 松崎長三郎
一七七、四一 諸橋 國松
五七二、七五 中野 勇吉
一三五、四二 松崎長太郎
一二八、五一 岡田 千藏
一〇四、二八 草野七五三之助
一一九、五三 吉田礒次郎
一一五、七四 丸山 慶治
一二三、六九 高久 忠一
一二四、一六 金子 重次
二八、四〇 阿部政右エ門
一九二、六二 江口 忠一

平署の自動車事故 死傷者廿四人
一月より六月までの 去年の約二割

中警察署管内に於いて去る一月一日より六月二十四日までの自動車事故は四十件で事故の大部分は衝突が重で是が爲め負傷したものは二十三人死んだものは一人である昨年の年内を通じて事故三十七件負傷者十八名死者一名に比すと約二倍の増加であるが是は自動車が昨年より約二十臺增加した爲も原因の一つだが更に大なる原因は縣内外に自動車學校濫立して實力なきにはか仕立の運轉手を頻にをくり出す事及び平署が自動車取締保護時代より一歩を進めて取締本位に進む樣になり從來同業者間でお互秘密に附してた少なる事故も一々警察署に屆出しめつゝある爲めである

時弊を正視して
平五　加藤學人

すでにいひ古されたことはある。一國の政治と人心と關係、すなはち、政治の國民精神に及ぼす影響は、われらが、日頃考へてゐる以上のものであるといふことを、今更ながら痛感せざるを得ないのである人心の廢怠、綱紀の紊亂といふことはあへて一朝一夕に起るものではなく、その由つて來るところは遠くまた深いのである、が、しかし、政治の沈滯がこれを助長するに與つて力のあることは、爭ふことの出來ない事實であらうと思ふ。何となれば、一國の政治は國民の耳目に直接觸れるものであるから、それが、また直に國民精神に反映するところ。すなはち、一國の政治が政爭をすて正しき意味のものであり、また、一世を指導する底のものでなければならぬといふのも、これがためである。故に政道の局に當るものとしては常にこれを銘記するばかりでなく、身を以て、これを實踐する覺悟がなければならぬのである。

現在に於ける世相を見ると、國民の道義心は著しく低下したのではないかと思はれる節が少くない。それにはいろ／＼の實例もあるが先づわが選擧界の實情を見れば多くの説明を用ゐないで知り得るであらう。政治の公明を期するとか、昭和維新の精神を發揮して政界の一大刷新を期するとかいつたところで、それは、選擧界の廓清といふことが根本である。總ての病患が選擧界の情弊からかもし出されてゐることはもはや何人も知らぬものはないくらゐである。すでに病源が判つてをり、またそれを治療すべき術も知られてゐながら、今日に至るまで改善刷新について更に實効が擧がらぬといふことは誠に不可解の事態であるが、しかしこれが今日の實狀であることをどうすることも出來ない。

かゝる不愉快なる世相を見るに至りたるは、もちろん幾多の近因もあり遠因もあつて必ずしも一規に律し去るわけには行かないのがわが國の政道に對する眞意義を理解せざるためであり理解しても實踐せざるためである。しかしてわれらは近時、一層この人心廢怠の傾向の甚だしきを見て窃に痛嘆せざるを得ないのである。思ふに、多少心ある世上の識者はわれらとその感を同じうすべきを疑はない一國興亡　歷史を見るに男子に節義無く、女子に節義が無くなればその國は必ず亡びて行くのである。これは東西その揆を一にすると言つて宜しい。われらはわが國の現狀がすでにかくなつて居るとは未だ思はないが、しかし、かくなるべき傾向があるのではないかと思はれることは、不斷に斷知して居るのである。今に始まつたことではないにしても官場に於ける繁文の弊が、果して、いかなる程度になつてゐるか、しかしてそれに伴ふ官吏の精神がどのやうになつてゐるかといふことはわれらが今さら説明するまでもなく幾多の事實が明かにこれを語つてゐるのである、官場がすでにかくの如くであるから、一般の世間は推して知るべきであらう。わが國の現在が果してどの程度まで腐敗してるか、その實際を赤裸々にして見たならば異に恐るべきものがあらうと思ふ

川瀬炭礦の 復活に盡力
小口組と小川氏

石城郡赤井村川瀬炭礦從業員の賃銀未拂問題に就ては郡山市小口組から近く係員來山の上同坑の實狀を調査しその結果によつて明二十五日頃までに未拂賃銀の半分四千圓位を支拂ふことゝなる模樣で同坑の復活に就ては小口組と東交市小川巻助氏が盡力することになるらしい復活すれば解雇された從業員も直に復職出來るものと見られてゐる

授業料滯納
平町當局で整理

平町第一、二兩小學校の高等科一二年授業料が甚だしく滯納してゐるので平町役場では非常に手を燒いてゐる滯納兒童は全生徒の約七割三百三十名の多きに達してゐるが斯くの如く不成績なことは未だ曾てないことで役場の調査によると滯納の原因は不景氣の結果であることは勿論だが不景氣に藉口して僅か八十錢の授業料を滯納してる向が可成り多いので學校當局並に保護者會と聯絡をとり滯納の整理をする事となつた

何を扨て置ても 大運動場の必要
早晩は實現するか 有志間に奔走

石城郡地方の運動熱は最近著しく發達し各炭礦、青年團では擧つて野球、庭球其の他の競技をなすに至つたが中學校、小學校に於ける男女子の運動も目醒しいもので殊にドッヂボール競技は盛んに流行しだし各小學校はドッヂの對校試合をなしてゐるが平第一、二、久之濱小學校の如きは郡内でも運動熱の激しい處で漸次各小學校も卒先してやる樣になつたが平町大振運動具店に聞くと最近各團体、中、小學校からドッヂ用ボールが購入されるが値段は五號品五圓五十錢、四號品四圓五十錢等である、而して運動熱の旺んに伴ひ平町有志間に町營大グラウンドの建設を叫ばれ新町會議員は之れが具体案につき寄り／＼協議中で早晩實現されるものと觀られてゐる

老人を轢く
長橋の街上で

平町二丁目尼子自動車所有乘合自動車を運轉手菅野美見（二四）が運轉し二十二日午後八時ごろ平町長橋町地内道路を疾走中運轉を誤り前方を通行中の長橋町實樂商島崎巳之助（六三）を轢倒し頭部その他に瀕死の重傷を負はせたので運轉手は平署に召喚取調べを受けたが被害者は上田病院に入院治療中

五才の小女に 暴行
入山の坑夫

石城郡湯本町字八仙入山炭礦工夫長屋居住同坑夫鈴木源藏長女はな假名（五）が二十一日午後八時頃所用歸途自宅近くに差かゝつた際突如一名の怪漢が現はれはなを押倒し暴行を加へ局部に全治二週間を要する裂傷を負はせ、何れへか逃走た急報により平署から鯨岡警部補青田刑事部長その他刑事係り數名現狀に急行し實地檢證を行つたが犯人は同長屋居住同炭礦坑夫横田次郎（假名）（二〇）と判明目下の行衛を嚴探中である

大口扱はあるが 小口は殆と絶無
近隣地は自動車に 石城の生繭動態

平町地方の春蠶は出廻も最盛期を過ぎたが平貨物取扱所に於ける生繭の發着を聞くに發送二十日までが二千四十八籠、二十三日まで一千百九十沂籠　噸數にすれば合計百七十二噸到着は二十三日まで二十四噸に各れ平年さ對照して減じてゐるがこれは最近非常に自動車の便が發達したため發着ともめつきり減少して來たもの、附近の貨物運搬は自動車に押され氣味で當所の小口扱は全然無いもの同樣だと

祝賀素謠
きのふ大貞で盛會

平觀世會の

平町觀世會では會員にして今回町會議員に當選した猪狩、坂本、佐々木三氏の爲め祝賀を兼ねた素謠會を二十三日午前十時より大貞に開催盛會を極めたが番組左の如し

△養老（ワキ）鈴木邦三郎（ツレ）石川友次郎（シテ）長瀬綾次郎◇杜若（シテ）赤羽清（ワキ）松本重兵衛△鉢木（ワキ）松井清水（ツレ）坂本隆藏（シテ）小湊恒次郎△加茂（ワキ）佐々木龍吉（ツレ）猪狩庄平（シテ）坂本隆藏△猩々（ワキ）新妻春吉（シテ）阿部秀寧△富士太鼓（ワキ）小野勇（ツレ）諸橋正次（シテ）新妻春吉△八島（シテ）石川友次郎（ワキ）諸橋正次（ツレ）吉田貞吉△絃上（シテ）梅原利三郎（ワキ）吉田定重（ツレ）長瀬綾次郎

青年團員表彰
平町

青年團では第十六區青年團員松浦讃二外二名が過般の暴風雨の際十時間以上も水中にあつて床上に浸水し危險に瀕してゐた同區の人々を救助したといふので近く表彰することゝなつた

青訓聯合演習
平青

年訓練所では青訓勅令發布三周年を記念するため七月七日聯合野外演習を石城郡大浦村仁井田海岸において催すが參加人員は青訓生外平商生平郷軍老兵等、青年團員等五百餘名で總指揮官は磐中の高橋少佐であると

縣外教育視察
石城第三方部會

石城郡第三方部小學校長一十二名は來る七月一日より一週間の豫定にて新潟、山形、秋田、青森、岩手方面に教育視察のため旅行す

平校井上訓導
平第

一小學校の井上訓導の英語科に關する研究發表は廿五日午後二時同校で行ふ

唱歌の指導
第三

方部小學校　唱歌主任教員唱歌指導は來る二十六日から第一小學校に於て磐女校田中教諭指導のもとに開催する

酌婦ドロン
途中で捕はる

石城郡小名濱町字南町料理店小西屋事小野眞次郎方抱へ酌婦渡邊ナヲイ（三〇）は二十二日郷里山形縣西山村郡芝移村に歸らんと、午前七時頃家人の隙を覗い逃走したが直に之を知つた同家主人は郡山署に手配を依頼したので、午後十二時二十一分郡山驛に下車する處を直に逮捕された

平校保護者會
平第

一、二小學校保護者會理事會は廿五日午後三時より第二小學校に於て開會する

着炭
埋藏量無盡藏 磐炭試掘坑

石城郡磐城炭礦では數年前より高坂坑の下に斜坑を試掘中であつたがこのほど漸く着炭し本年度下半期ころより愈々大規模に採掘を開始することになつたが今日までの調査によると附近の埋藏炭量は無盡藏と稱されて居り各關係方面から多大の注目をひいてゐる

片濱軌道
株式、調査處分 見込みのない

石城郡片濱軌道の工事施行期限は再三變更し本年六月三十日まで延期されてゐたが創立事務の小進歩により到底竣成覺束なく縣に發起人總代大谷喜作氏に出縣を命じ株式募集の現在數を調査し適當の處置をとることになつた

雄辯大會
きのふ磐中で

縣立磐城中學校雄辯部主催縣下中等校雄辯大會は二十三日午前八時より同校講堂に於て開催されたが出席辯士は福島高商、相馬中學、石川中學等四十名で頗る盛會であつた

平校自治會
機關紙も發表

平第一小學校高等科自治會では毎月一日、十五日の二回「かゞり火」と云ふ機關紙を發行してゐるが今月十五日發行したものは次の如くである

時の記念日（論文）時計のたちさん（童謠）五月のお節供（歌）我々日常の注意（訓歌）偉人の面影（東郷平八郎）（訓話）

驛手に新帽子
平驛

平驛ではそろ／＼梅雨も降り始め構內露天で作業する驛手に舶の程新式のカーボイ風の黑色帽子を冠せる事になつたが新築モダン驛舍ともに驛手のモダン姿は似合ふ事であらう

石城地方強震
震源地小名沖

石城地方一帶を振動した今二十四日午前十一時〇分四十四秒の地震は近來稀な強震で平町では戸外に飛び出す等相當被害ある見込みであるが小名濱測候所の觀測を聞くと震源地は小名濱を距る東南東四十三キロ米ノ沖合で約六分十一秒に亘り震動してゐたが震幅はあまり急震のため地震計が記錄字を越して判明せないが外帶地震脈の活動であつた

養蠶同業協議
來月一日に開く

石城養蠶同業組合評議員會は來月一日午前十時から平町元郡役所內に於て開會する協議事項は次の如くである

一、昭和四年度經費追加更正豫算の件
一、寄附金採納の件

藝者の新輸入
書入れの夏を控いて 石城の海水浴場

小名濱、四倉、豐間各海水浴場ではいよ／＼海水浴期が近づいて來たのでそれ／＼浴場の準備を急いで居るが一方浴場にある藝料理屋ではこの書入時を逃がしては年中浮かぶ瀬が無いのでぼつ／＼顔立の良いのを第一に置いて輸入を始め四倉町の如きは既に輸入候補も出揃つた程で前景氣を付けて居るがそれだけ早くも風紀が紊れ出して來たので平四倉署では町內の風紀維持上嚴重な取締をなし違反者は遠慮無く檢擧して處罰する方針であると

移轉開業

古鍛冶町在住當時は一方ならぬ御懇情を賜り殊に類燒の際は特別の御高配を戴き候段奉深謝候
今回左に移轉開業致し候間將來とも相變らず御引立のほど懇願仕り候

六月二十日

平町田町元甲子裏
青山易斷所
青山而象

初夏です
貴女方の旅行に外出に
パラソル！日傘！
それへ華奢な扇子を御持ちでしたら
どんなに御似合でせう

1・50……・38 扇子
——1・80 パラソル
2・50——1・35
3・50——1・80 日傘

ヤルツ

品質本位

多少に拘らす配達迅速勉強第一に勤めます

辰ノ口本家
平窪 松本德一
電話（平）七五二番

營業種は
石炭
コークス
玉炭

磐城第一ノ石炭トシテ自他共ニ推稱スル
◎磐城炭礦ノ最上石炭
一、正味十貫目入 壹俵 金 六十五錢
◎日本デ一番評番ノ良イ東京瓦斯コークス
一、コークス 壹俵 金壹圓三十錢
◎木炭ノ三倍御德用ナ（ツ）ノ玉炭
一、玉炭 大箱壹箱 金 貳 圓
配達ハ二俵ヨリ致シマス

平驛前
（ツ）阿部石炭商店
電話二三七番